

1学年通信

令和6年6月21日
江戸川区立松江第五中学校
第1学年 学年通信
NO. 12



～ 運動会特集 第4弾 ～

運動会特集の第4弾です。今回は、「運動会後に書いた作文」です。みんなの運動会に対する熱い思いをあらためて感じました。運動会を通して得た学びや、仲間との絆など、多くの人が運動会の感動を書いていました。学級対抗リレーの選手紹介の写真も載せましたので、当日の盛り上がりを思い出しながら読んでみてください。

< 学級対抗リレー >



競技前のパフォーマンスも盛り上がりました!!

円陣を組んでいます!!

< 運動会作文 !! >



楽しかった運動会 3組: []

私は、今年、中学校が始まって初めての運動会をやりました。私とその運動会で得たものは2つあります。

1つ目は、友達と協力することの大事さについてです。小学校でも運動会をやりましたが、コロナの影響でみんな外で応援することは4年ぶりでした。あと初めて出会った仲間達と協力することは簡単そうにみえてとても難しいものでした。たとえば、リレーなどの時初めての人にバトンをわたす時、どのくらいの足の速さかわからないからどのタイミングでバトンをあげるかなどわからないことが多い中、1人1人が協力してとてもいい運動会ができたと思いました。

2つ目は、仲間のあたたかさです。私は練習でこけてしまいました。その時みんなが、「大丈夫」や「大げがじゃなくてよかった」などたくさんの方が声をかけてくれました。私は、声をかけてもらった時、とてもうれしい気持ちになりました。どんなに順位が落ちようが「大丈夫」と声をかけてもらうだけでも、さっきの失敗がなかったように思えました。私はそれがとてもうれしかったので本番こけてしまった子がいたので救護テントまで運びました。その子は私に「ありがとう」と声をかけてくれました。その言葉も心をあたためてくれることがわかりました。

私はこの運動会で、人と協力することの大切さと暖かい心の大事さを学びました。運動会は、このどちらかが1つでもかけてしまったら最後までみんなが全力を出し切ることができなかったと私は思いました。この「協力」と「あたたかい心」は運動会だけではなく日常生活でも活かして学校生活をもっとよりよくしていけるように、心がけていきたいです。

運動会の思い出 4組: []



「がんばれー!!」

クラスみんなの応援が聞こえる。私はクラスの選抜リレー選手に選ばれた。前の人からのバトンのつなぎは、とても緊張した。四組の順位はその時点でビリだった。だから私は、クラスのために全力を出そうとして、つい強く走りすぎてしまった。しかし、バトンつなぎが上手くできなかった。バトンもらった後、私は全力で走った。走るのに夢中で周りの音が全く聞こえなかった。「もう少しでぬかせる」と思ったところでバトンの引継ぎがきてしまった。次のバトンは、上手にわたすことができた。

走り終えた後、私は自分のクラスを全力で応援した。四組の結果は、二位だった。みんなは、すごくよろこんでいた。男子の順位は一位で、ルール違反もなかったため、点数がとても上がった。私は、結果発表を楽しみにしていた。けれども四組はビリだった。

このクラスでの運動会はもう終わってしまったけれど、来年はもっとみんなと心を合わせて、優勝したい。